

## 令和2年度 第3回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年2月12日（金） 午前11時00分開会

2 場 所 本庁3階 3-1会議室

3 出席者

(構成員) 築上町長 新川 久三  
教育委員会  
委員 麥田 猛美  
委員 折本 美佐子  
委員 茅田 香  
教育長 久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

元島総務課長、野正学校教育課長、古市生涯学習課長  
岡部学校教育係長、出口学校管理係長  
宮内指導主事、小林指導主事

(傍聴者) 1名

午前11時00分開会

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

### 4 会議内容

#### (1) 開会

○学校教育課長（野正 修司君） 皆さん、こんにちは。

定刻になりましたので、令和2年度第3回築上町総合教育会議を開会いたします。

まず、町長の挨拶をお願いします。

○町長（新川 久三君） 皆さん、改めまして、こんにちは。

教育委員会の後、教育総合会議ということで、よろしくお願いします。

今度の新型コロナ感染症、若干ですが、次から次に出てきている。現在22例目ということでございますけれど、幸いにも、集団的感染、クラスターがなくてよかつかなと思っているところでございますけれども、クラスター寸前のところまで行ったところもございまして、同じ中で2人が感染したというふうなこともございますけれど、まだまだ5人以上という、そういう定義があるみたいなので、集団感染には至ってないという状況でございます。

学校環境も冷や冷やするところ大分ございましたけれども、児童には1人、1人ですね、椎田中学だったと思いますけれども、1名だけ、これもう家庭内感染ということで、広がってないことを願いながら、早くこれが平常な姿になることを期待しながら、そしてワクチンのほうも、もうすぐ医療関係者の方々から先に一応ワクチンの接種をしていく。そして、あと、高齢者の施設関係、そして、あと、65歳以上の高齢者という形で順次していく一応予定にしておるところでございますし、そして、一応、対策班というのを現在一応設置いたしました。そして3階のところの、2階か、2階の会議室のほうですね、対策班の専用の部屋として、一応看板掲げて、現在いろんな会議等をしておるところでございます。おいおい皆様方にも接種の連絡があると思うんで、よろしくお願いします。

今日、総合会議ということで、3回目でございますけれども、若干のいろんな変化等があれば、報告していただきながら、あとは、やっぱり、少し議題にずっと上がってきてありますけれども、学校の再編と、これについて議論をもうちょっとしながら、ある程度早く結論を出して、そして住民の皆様の見解をいただくような形に持っていったほうがいいんじゃないかなんかと思っておりますし、そういうことで、本教育総合会議の中で一定の結論を出しながら、あと、それを実施にうつしていくと、いけたらどうかなんかと思っておるんで、いろいろ議論しています。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。

続いて、3番の報告事項です。

まず、学校教育の取組ということで、私のほうから少しお話をさせていただきたいと思います。

今年度の施設関係の大きな事業について、ちょっとお話をしたいと思います。

八津田小学校の建て替えを現在行っております。それで、プールの解体工事も終わりました。それから進入路の設置工事も終了しております。今、校舎の建設工事に入っているところがございます。予定としましては、令和3年度までに校舎の建築を行い、それから外構の工事の一部を行う予定にしております。それから令和4年度に開校を予定しております。その後、旧校舎の解体、グラウンドの工事、駐車場の整備工事、フェンスの工事等を計画しているところがございます。

それから、今、下城井小学校では空調の整備工事を行っております。これも防衛省の補助事業

で防音事業というのがございまして、その事業を活用しまして、現在行っているところでございます。こちらも来年度までの工事となります。今現在、進捗率は40%という状況でございます。

あと、その他の工事の説明も若干したいと思います。

築城中学校の体育館の床板の張り替えと電灯の改修工事を行っております。こちらも防衛省の再編交付金を活用いたしまして、今月中に完成予定でございます。

それから、西角田小学校の受変電設備の新設工事ということで、こちらのほうは完成しております。

ほかに、椎田中学校の屋上の防水工事、これは台風9号によって、屋上の防水がちょっと被害を受けましたので、そちらの工事も行い、こちらも完成しております。

それから、同様に台風9号で、西角田小学校の屋上の防水のほうも被害を受けまして、こちらは、まだ現在工事を行っており、進捗率は80%というところでございます。

あと、それから、西角田小学校の給食室の空調工事を今後行い、3月末までには終わる予定となっております。

あと、工事関係ではございませんけども、1人1台タブレットということで、先ほどの教育委員会の中でも、若干話出ましたけども、今月中に全ての学校に納入が終わる予定となっております。

それと、GIGAスクールということで、学校内の高速通信に対応する工事のほうも、こちら既に完了しているところでございます。

以上、学校教育課の事業について簡単に説明させていただきました。

続いて、生涯学習課のほうからお願いいたします。

#### ○生涯学習課長（古市 照雄君） 生涯学習課です。

主な今進捗になりますけども、中津街道の活用検討委員会、こちらにつきましては、平成31年2月に第1回目を開催いたしまして、現在8回開催予定でいます。今年度2月17日に開催される同策定委員会で、検討委員会で、あらかじめ検討、最終報告まとめができて、こちらのほう、また、それ以降で、また活用していきたいと考えております。

そして、築上町子ども読書活動推進基本計画の策定です。

こちらについては、2次ということになりまして、ただいまパブリックコメントの集約期間となっております。今、ホームページとあと庁舎、あと図書館等々で、パブコメの周知を行っているところです。

こちらにつきましても、策定後、計画策定後、子どもの読書環境について、より充実した築上町のやり方というところで、子どもたちの読書環境のほう整備充実を図っていききたいと考えております。

聖火リレー、オリンピック・パラリンピックの関係です。今現在5月12日に聖火リレーのほうは実施をするということで、そして、7月、8月ともに、オリンピック・パラリンピック開会するというところで動いております。

1番直近で行われる5月12日の聖火リレーにつきましても、既に警察協議等々の協議が始まっております。国が示す組織委員会が示すガイドライン、こちらのコロナ対策につきましては、かなり細分化した、かなり大変な内容になっております。選手の移動を含めて聖火リレー、そして事前キャンプ含めて、かなりの経費も含めて、こちら国が相当の負担しますけれども、事業内容がかなり多くなってきているというところで、そちらのほうについても、係の中で調整しながら取組を行っております。

今後、町として、この取組については、職員の協力を得ながらやっていきたいと考えております。

そして、町民大学については、公民館運営審議会の中でも、いろいろ意見をいただいております。町民大学につきましては、令和3年度から新しい形で町民大学のほうをやっていきたいと考えております。今、講座形式で行っておりますけれども、そちらのほうを大きく変えます。変えまして、少し大きく変えまして、カテゴリー別にやったりとか、今、そちらのほう生涯学習課の内部で検討しております。

最後になりますけれども、コロナ対策の分で、今回先ほど言われました町長の話もありました対策本部が設置されて、主会場が中央公民館、そして、ソピアということで、集団接種の会場になります。こちらについては、4月から今のところ12月ということで、対策本部のほうではあっておりますけれども、この間、この両会場につきましては、接種会場になりますので、こちらに伴います備品等々の設置に関する費用が必要になってきますので、今回臨時議会のほうで計上する予定にしております。

生涯学習課からは以上です。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして御質問等があれば、お願いします。——よろしいですか。

続いて、4番に移ります。

これからは意見交換ということで、築上町教育行政について、また、資料としまして、前回と同じ物でございますが、新しい時代に向けた築上町の小中学校の在り方について（案）というのを用意しております。

進行については、町長のほうで、ここからお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○町長（新川 久三君） その他ということで、教育行政ということに若干になろうかと思っております。

けれど、一応絞っていきたいと思いますけれども、新しい時代に向けたという形で、築上町中学校の在り方ということで、一応連携が取られておりますので、これを議題にしながら、その後、議論していきたいと思います。

かねてから問題になつとる学校統合、統廃合というか、これについての考え方を、かねてから、若干ですね、椎田中学校の建て替えは、これはやるということで、一応方針決定しております。その中で、椎田は小学校全部統合の話を地域に打ち立てて、地域の意見をもらったかどうか、一応方針、もらうためには、ぴしゃつとした、ある一定の計画性を持った形で方針を出していかなくやいかんかと思うまして、基本は椎田小学校の建て替えで、椎田小学校、それから、西角田、小原というのは、小中一貫、義務教育校と言うか、今、そういう形のスタイルに持って行ってもいいかなという気持ちはあるんですけど、そここのところを一応全体のものをしながら、そういう状況できればということも考えておるところでございまして、そういうことで議論をしたいということよろしくお願ひします。

じゃあ、それぞれ児童の推移とか、そういうものを説明してくれんかな、事務局から。

○学校教育課長（野正 修司君） それでは、各小学校の入学児童の推移を読み上げたいと思いますので、資料の1枚めくったところの下の部分に表がございまして。

椎田小学校から行きます。

まず、令和2年度でございまして、これから順に読み上げていきますね。

43、40、33、44、41、35、42と大体40人前後で、今後推移します。

それから八津田小でございまして。令和2年度が21、23、23、29、20、16、23、17、八津田小については、20人前後で推移していくようございまして。

それから葛城小です。8、6、8、16、5、8、8ということで、葛城小は10人弱ぐらいかなということでございまして。

それから、西角田小でございまして。3、4、1、4、4、2、2ということになっております。

それから、小原小です。1、4、0、2、2、0、2という予定でございまして。

椎田地区合計でいきますと、令和2年度が76名、続いて、77、65、95、68、68、71となる予定です。これでいきますと、七、八十人前後かなと、70人前後ぐらいですね、の推移になろうかと思ひます。

それから、築城地区です。築城小学校です。48、35、33、37、41、27、20ということでございまして。

それから上城井小です。3、4、5、6、2、3、3。

それから、下城井小です。5、6、6、9、2、7、3。

築城地区の合計でいきますと、56、45、44、52、45、37、26という推移でござ

います。

町全体の分でいきますと、132、122、109、147、113、105、97という推移になる予想でございます。

以上でございます。

○教育長（久保 ひろみ君） じゃあ、つけ加えさせていただきます。

児童数は減というか、そういう状況であります、学校のほうに目を向けます、学校のクラス数を見ていきますと、この表のちょっと3段目ぐらいに書いてありますが、今年度は、町内の小学校8小学校のうち、5校に複式があるわけです。ところが、令和3年、来年になりますと、小原小、西角田小、上城井小に加えて、下城井小学校も完全な複式になることとなりました。1、2、3、4、5、6というふうにですね。

それで、学校規模が小さくなるというところは、令和3年は今までと違うというところもあります。

また、先ほど町長のほうから、今後の小中学校の在り方をそろそろ検討する時期ではないでしょうかというお話があったと思いますが、ちょうど、今、この複式になってしまった状況の中で、教員数も減ってくるという中で、やはり、統廃合と言となかなか住民の方たちも、学校がなくなるということであれば、なかなか賛同できないという御意見も多分予想できますので、コミュニティスクールの中で、協議も今ずっと重ねてきているところですが、さらに、新しい学校、築上町独特の学校の形、町長もお話しましたが、小中一貫した区切れのない義務教育9年間の学びということを全面に押し出しながら、新しい学校づくりをしていくことで、町民の方々、保護者だけではなく、高齢者の方も含めて御理解をいただけるような形で進めていければいいのではないかと。そのためには、丁寧に進めていく必要があるのではないかなというのが、私の意見でございます。

○町長（新川 久三君） ちょっと事務局に尋ねると、入学だけが、推移が2年から8年まで出るのね。全校生徒の推移というのは分からないよね。

○学校教育課長（野正 修司君） ちょっと、この資料には、終わりから3枚目……。

○町長（新川 久三君） いやいや、それは……。

○学校教育課長（野正 修司君） それは過去の分ですね。合併当時から……。

○町長（新川 久三君） これにどれだけ入って、どれだけ出るかちゅうのが分かってくればいいから、一応、総合、一つに全部まとめたほうが分かりやすいんで、早急にその表をまとめて、したら、それぞれ、令和5年度時点では、全校生徒が幾らになるというのは、これやったら、ちょっと分からない。ちょっと判断し難いところもあるんで、そこのところをちょっと……。

○学校教育課長（野正 修司君） 早い時期に作って、町長のほうに……。

- 町長（新川 久三君） 皆さんに配って、そういうものを検討課題とするいう。
- 学校教育課長（野正 修司君） 次回の教育委員会までに用意したいということで委員さんには配ります。そのときには町長のほうにも配ります。
- 町長（新川 久三君） 今、分かっているのは、令和2年度の人口数というのは分かっているからね。それに6年生出ると入るの足していきゃあ……。すぐできるやろう。そういうことで、ぜひ、お願いしたいと思います。
- これいけば、大体これが6年間、7年間やろ。そしたら、ほとんど、おらんことなる状況になるよな。西角田あたりほとんどおらんことなる状況になるね。これからいきゃあ。
- 教育長（久保 ひろみ君） この資料を作った時点では、小原が1となっていましたけれども、多分ここも1が出てくるはずじゃなかったと。
- 町長（新川 久三君） 小原は9人で、出ていくのは、今年出るの、何人おるんかな。小原で。今年二人なのかな。
- 学校教育課長（野正 修司君） ちょっと資料を見ます。
- 町長（新川 久三君） 小原は10人未満になるという話を聞いておるし、4人入って、じゃあ、5人出ると。
- 町長（新川 久三君） 令和3年4人。
- 教育長（久保 ひろみ君） 4人ですけど。
- 町長（新川 久三君） 4人入学って書いている。
- 指導主事（宮内 裕美君） 今、3人になったと……。
- 町長（新川 久三君） 今度は3人になった。
- 指導主事（宮内 裕美君） この資料が11月なので、多分6年生が4人出て、4名だったんですけど、1名が椎田のほうに変わるので、3名になっていると思います。
- 町長（新川 久三君） 3名になっているね。
- 指導主事（宮内 裕美君） はい。
- 町長（新川 久三君） それで、もう、じゃあ、9なんやね。
- 指導主事（宮内 裕美君） それで9になりました。
- 町長（新川 久三君） 今回は9やね。
- 指導主事（宮内 裕美君） はい。
- 町長（新川 久三君） 次は、5年生が1人おる、何人かおる……。
- 指導主事（宮内 裕美君） 今1人います。
- 町長（新川 久三君） なら、8になるんやね。
- 教育長（久保 ひろみ君） はい。

○町長（新川 久三君） 4年生が何人おるのかな。そうして形、最終的にはどうなる。

○教育長（久保 ひろみ君） 分かります。それはもう早急に作らせてもらいます。

○町長（新川 久三君） 野正課長、頼みます。

○学校教育課長（野正 修司君） はい。

○町長（新川 久三君） これは、いずれにしても、傾向としては、こういう形で、児童はどんどん少なくなってきたという傾向なんで、そういった方針もどうなのかなと思っているけれども、皆さんの考え方、ちょっと聞いてみないとな。

僕は、今まで約20年間、やっぱり、地域振興という考え方で、学校は極力残すという方針で、10人未満になったら、学校の統合の話進めますよとずっと言ってきたわけです。それで小原小学校が我慢してきている。どんどん、また、増えたときには18人ぐらいあったときもある。僕が町長になったとき10人ぎりぎりやったんですよ。だから、そうやって、努力もしてもらって、20年間、一応現在の状況は保てたという形になるけれども、今後はもう、これじゃあ、ちょっと10人ぐらい保てんかな。そのためには中学校の建て替えという一つの契機があるんで、この契機の中で、皆さん小学校と中学校一緒にしてよろしいですかという、その意見をまとめてないかなければと思う。

それはもうだめという形であれば、他の方法考えなければいけんし、そういうことだと思います。

麥田先生何かないですか、今、僕らが言っている義務教育学校とか、そういう考え方の中で。

○委員（麥田 猛美君） 前から思っているのは、人数だけじゃなくて、建物の問題もあると思います、コンクリートの建物の耐用年数とか、今耐震を中心に考えていますけども、自然災害に耐えられるかというところもあるんですよ。今、築城中学校の床を張り替えておりましたが、ほとんどの窓が動かない。だから、コロナ禍で、空気の循環をなさいよって言っても、窓が開かないですよ。そんな状況で、今、推移していますし、だから、人数だけじゃないところも結構あるので、ちょっと意見を聴取してほしいですね、全然動かないです。

○町長（新川 久三君） 築城中学校はすぐせないかな。体育館は模様替えでなさいと言うちよるから、ある程度、今の校舎に合った体育館にしていくという考え方で、ちょっと事務局も検討して。

○学校教育課係長（出口 厚志君） はい。

○町長（新川 久三君） 補助がつきゃ、それでいいけど、補助がつかなきゃ、なんとかしなくてはいけないし、だから、壁も早く塗り替えたほうがいい、僕は思っちよるんよ。校舎にマッチした壁の色にね、もう、今、汚れてしもうちよんもんな。いや、いや、だから、それはそれで、全体的に、やっぱり、模様替えとか、そういうことで、耐震はあるんだから、一応、悪いところ



は変えていくという方針には立っておるんで、それはそれで、そういう形にぜひ……。

○委員（**麥田 猛美君**）耐震がオーケーなら、じゃあ、オーケーかちゅう話ですよ。耐震に通っているからいいじゃないかちゅう……。

○町長（**新川 久三君**） いやいや、そうじゃないって。

○委員（**麥田 猛美君**） いやいや、放置してきたところがある。あとは、安全面ですよ。

○町長（**新川 久三君**） それでは、改善するにも、はい。そういうことで、一応計画しながら、財政は、できれば、補助がつくような形をつくるほうが1番いいと思うんだけど、つかなきゃつかないで、過疎のあれも適用できるかも分からんし、過疎債という単独事業でも、そういうことで、はい。

○委員（**麥田 猛美君**） 次いいですか。今、きれいになって、今、玄関のところで吹き付けの仕事が行われている。ぱっと見にはいいんですけど、下のドアも全然開け閉めができなかったから、私がディスクグラインダー持ってきて、全部削ったんですね。そしたら動くようになった。でも、そんな形でしか、解決してないですね。基本的に何かをしなくては（ ）している。

○町長（**新川 久三君**） その辺ちょっと指摘があったので、検討します。

○委員（**麥田 猛美君**） 私も毎朝挨拶運動に行っていると、何とかしてくださいよち言われるんですよ。そんな感じです。

○町長（**新川 久三君**） はい。僕は、そういう心配もあるでしょうから、できるだけ早くやっという話は、一応、内装で困ったところはやらないかと。耐震があるんで、建て替えはちょっと無理だという考え方で、内装で、一応、不具合なところはやっていくというようなところで、校舎についてはそうなんです。今までの方針は、全部耐震があって、耐震がないものは八津田小と、それから椎田中学ということで指摘をされておるんで、これは建て替えをせざるを得ないということで、しかし、この際、椎田小学校のほうも、老朽化は老朽化しているんよね。築城も、築城のほうは、ちょっと新しいくらいかな。だけど、築城も、あと耐震がかなっておるんで、小中一貫のときには、築城小学校と築城中学が、その当時は、まだ、あまり、一応、中学校は中学校、小学校は小学校という考え方で、そういう考え方のほうが強かったんで、一応、義務教育学校というのは考えてなかったんですけどね。今後、建て替えとすれば、そういう小中一貫を築城のほうもやっていくべきだろうと思う。それはそれで、今、築城小学校の建て替えが本当に必要なときは、そういう議論も必要だろうと思うし、ただし、下城井と上城井か、これはもう、どうだろうか、統廃合という一つのこの際ですね。そして、フリー通学全部町内したらどうかなと僕は思っているんです。自由なところに、自分たちが行きたいところに行くという、いろんな形態の学校をつくって、そこをそれぞれ選択していくという方法もいいんじゃないかなと思うんで、そうすることによって、学校自体が努力するんじゃないかなと僕は思うんですね。

○学校教育課長（野正 修司君） ちょっと参考にいいですか。築城小学校については、10数年前に大規模改造と耐震補強ということで、大規模に改築して、かなり新しいような仕様になっています。

○町長（新川 久三君） だから、今のところは、模様替えとか、そういうちょっとした改修でいくという方針になっておるといことで、今後は、小中義務教育学校という形になれば、それはそれで、一応、地域の皆さんが、そういう要望があればそれをやっていくという話になる。中学の中に併設しようという形になろうしね。そうなれば。

折本委員は、何かないですか。

○委員（折本 美佐子君） 最初町長の挨拶のときは、椎田中を建て替える、椎田小ですね、椎田中ですね。

○町長（新川 久三君） はい。

○委員（折本 美佐子君） 小学校建て替えといことで、椎田校区が中心になっているなと思ったんですが、今のお話で、築城のほうもという案が出たので、安心しているところです。

上物でいうと、築城中のほう新しいのができているので、さっき町長は椎田と、違った、町長は下城井と上城井を先に統合させてというお話をちらっとされましたが、それだったら、もう、先に築城のほうを小中学校、あるいは、同時にやるということは非常に大変できないかもしれないんですけども、時間とか、効率からいうと、築城を先にするという方法もあるのかなと。もしくは同時とったりしました。

先にこっちを、上城井と下城井を統合させてという方法もあるかとは思いますが、それよりは、可能ならの築城を、築城小を一気に進めたほうが。

○町長（新川 久三君） それも、ちょっと意見もらいながらね。

○委員（折本 美佐子君） はい、いいような気もします。

○町長（新川 久三君） 築城の小学校に上城井、下城井と一緒にという方向性も、これは当然あると思います。一応、椎田だけするんじゃなくて、八津田小はそのまま残しますからね、建て替えているから。

○委員（折本 美佐子君） そうですね。

○町長（新川 久三君） はい。だから、そういういろんな形態をつくりながらという形になれば、築城のほうも、下城井と上城井に話を持って行って、一応、いろいろな条件も出てくるかなというのがあるけれども、そういう話は必要だろうと、それは思っております。

○教育長（久保 ひろみ君） ちょっといいですか。

○町長（新川 久三君） はい。

○教育長（久保 ひろみ君） すみません。今、折本委員のほうのいろいろ意見を出していただい

ております。教育委員会で、これまで、ずっと小中一貫した学び、9年間の継続した学びをするためにどうしたらいいんだろうかという話はしていきまして、児童数の減少等もありまして、少し現実味を帯びてきたのが今の状況だと思えます。それで、やはり、これからの進み方としては、やはり、大きな構想を固めて、その中で、どう進めていくかという検討に入る。そういう手順と  
いうか、そういう部分は、今後必要になってくるのかなというふうに思っていますので、ぜひ、皆さん方いろんな意見を出していただきながら、議員の方々の声も聞きながら、何か大きな構想をつくって行って、具体的な計画で落とししていくというのを、これから手順が必要かなというふうに思っておりますので、そのためには、今後、どこで、その検討をしていくかというところもあろうかなと思いますので、その辺のところの御意見も皆さん考えれば、せつかくのいい意見たくさん出て、意見を皆さんに理解してもらって、現実的なものにしていくところが必要かなと思っております。

○町長（新川 久三君） 今、考えておるのは、基本的には、構想の中では、椎田中学校を中心にした小中義務教育学校、それで、椎田だけ、八津田は除外される状況なんです。けども、八津田の人が義務教育にしたいという形になれば、義務教育にしていてもいいという自由通学制度ね。築城は築城で、基本的には、築城小学校に上城井、下城井を一体的な形で一応一緒にしてしまいう形、築城は中学と小学校という、これを将来的には義務教育学校に持っていくという方針を持っておるけれども、今のところは会がちょっとできないという形で、小学校だけであれば、会の中に入るといふ、その3つの方針をびしゃっとこの会で示しながら、やっぱり、住民の皆さんにこういう形で行きたいかがでしようかという、やっぱり、一つ、提案がやっていかなければ、いかんだろうと思っておりますし、いや、それも今、葛城は残してくれ、西角田は残してくれと、小原は10人未満になれば、お願いしますという、これも当然いいんだけど、基本はこういう形でいきますというのを住民の方たちにお願ひしていったら、どうなるだろうかなという、一つ、しかし、この会としては、こういうふうにやりたいというのを強く打ち出さなければ、どうでもいいよという形になれば、今のままにしてくれとなるんですよね。基本は、こういうふうにしたいというのをびしゃっとした形で住民に伝えていくのが大事だろうと。

○委員（折本 美佐子君） いいですか。八津田の八津田小が今建て替え中ということが一つネックになっているかと思うんですが、それは置いておいて、町の規模とか、これからの人口のこととかを考えると築上町は、できたら、小中義務教育の2つでいい、2つがいいんじゃないかな、築城と椎田みたいな感じで、2つがいいんじゃないかなと思います。例えば、無理とは思いますが、今建て替え中の八津田に統合というのは無理なんですよね。名前は別で、また新しいのを建てるという、お金のことは、私は一切分からないですけども、今建築中の八津田をその拠点にするような、もうちょっと増築内を、土地の問題もあるし、ただし、八津田は防音が大変と

思います。騒音の問題が学校訪問したときに物すごく感じたので、そこを拠点にするとなると、きっと反対もあるだろうとは思いますが、私は、個人的には、2つが理想なんじゃないかなと思っています。

○町長（新川 久三君） 今の現状の児童の推移という形しか、設計出してないんよね。ある程度、決定をしないと、小中一貫で行きますという形で決定をして建てなければ、この建物が建たないという形になりますしですね、建てて、今からしますよという形じゃ印鑑もらえないし、こういうふうにやりますということで建てなければ、国のほうは補助金もくれんし、ただ、基本的には、小中一貫の椎田地区、八津田を除外した義務教育学校をつくるんということで、小学校とそれからまた用地も必要になります。そういうのをできるという形の中でしないと、合意ができて、全部やりますということで、物的なものは、それから動き始めるという形になる。

茅田委員、何かないですか。

○委員（茅田 香君） 町長さんのお話をすごい、いい案だなと思って、小中一貫を築上町はしていくほうがいいと思います。椎田と築城とということで、そこは、西高も、高校もございまして、築上町には、そういう力を入れて、建て替えて、新しい校舎にしていますんで、築上町は教育がすばらしいなということをアピールしていくのは大事じゃないかなと思います。

先ほど町長が言われていた自由に行ける、学校を選べるというのは、築城の子も椎田のほうに行きたいと言えれば行けるということですか。

○町長（新川 久三君） それは、それでいいんじゃないかと思うんですが、どうですか。

○教育長（久保 ひろみ君） 基本的に校区の考え方というところで、あまり、私も自由にというふうでも、結局、一応学校の校区というのは、歩いて行けるということが基本になっているわけですね。ですから、基本はそうなんですけれども、今、こういう新しい形、例えば、施設がおんなじ、小学校、中学校一緒のところにあるところ、それから違うところにあるところ、そして、八津田小学校というまた特別な、特色ある教育活動をするところの枠組みをつくった中で、校区の選択というところもできるのを考えていますので、最初から全部オープンという話がいいのかどうかというところは、やっぱり、慎重に協議しないと、端から端に歩いていく小学校の子どもが、あっちの学校がいいからといって、本当に歩けるかどうかということもありますので、そこ辺は、やはり、また十分に距離とか、途中の危険物とか、安心、安全で通えるのが1番というところもあるので、当然、その辺のところをクリアした上での校区の選択という……。

○町長（新川 久三君） 通学という問題は一つ出てくるから……。

○教育長（久保 ひろみ君） 出てくると思います。

○町長（新川 久三君） あとは、親御さんのほう絶対送り迎えするとか、そういう条件であれば、自由通学という形もあると思う。あとは、統合したところについて、バスを用意しなければ、当然

これは通学バスを用意して、上城井、下城井、それから、もし、西角田、葛城という形になれば、小原もか、そういう形で、バス通学を必ず用立てをするということはあるんじゃないかと。椎田小学校については、湊の人がそんな不便になるか、どうなるかという、しかし、こっちのこちら辺の人は楽になる形になろうと思う。そこんところは、調整をひとつ、小さな形での調整をしていかなきゃいかんかな。湊の人が町のバス、ぜひ出してくれって言えば、出さざるを得ん話もありますし、基本は徒歩、中学は今徒歩か、自転車乗ってきているかな、湊は。

○教育長（久保 ひろみ君） 徒歩と自転車です。湊は自転車通学しています。

○町長（新川 久三君） 自転車かな。

○学校教育課係長（出口 厚志君） 希望者はみんな自転車通学です。

○町長（新川 久三君） 希望者はみんな許可しているんやね。

○学校教育課係長（出口 厚志君） 遠い近い関係なく。

○町長（新川 久三君） 近いでも許可しているんやね。

○学校教育課係長（出口 厚志君） そう聞いています。

○町長（新川 久三君） はい。昔は許可なかった。

○委員（麥田 猛美君） 昔は自転車置き場が足りなかった。

○町長（新川 久三君） そういうことがある。

○委員（麥田 猛美君） そういう事情がございます。

○町長（新川 久三君） そういう形でいきますという、計画書をびしゃっと作らないと住民には説明できないと思うんです。それを作って、それを作る過程を皆さんで議論していけば、それでいいんじゃないかなと思います。

○委員（麥田 猛美君） いいですか。

○町長（新川 久三君） はい。

○教育委員（麥田 猛美君） 多分、事前アンケートみたいな対応もあると思うんですけど、今勤めている学校の先生方だったり、管理職の先生だったり、学校にまた声を吸い上げる場がないんです。だって、私は経験ないですけど、教頭さんいない学校であつたりとか、いろんな授業あるじゃないですか。教員の定数によって3つも4つも掛け持たないけん。その中で、こっちは学力をしっかりつけちよくれと。（ ）難しいので、もし、アンケートを取るんであれば、現在勤めていらっしゃる先生方にも、今までないです。

○町長（新川 久三君） ああ、そうね。

○委員（麥田 猛美君） 吸い上げてないです、全然。

○町長（新川 久三君） いや、吸い上げたよな、議会が椎田中学と築城を一緒にせえとかね、そういう意見で、いや、僕はもう、そういう形で両方一緒にしないという方針で、そのときには先

生方の意見も大分もらったつもりなんですけどね。小中、築城中、一緒に議会のですよ、当時。

○委員（麥田 猛美君） 状況変わってというか、（ ）出てきたりとか、状況変わってくるじゃないですか。学校定数とか。

○町長（新川 久三君） そのときに、先生方の意見をもらったら、先生方は、一応、2校体制でいったほうが良いということで、はっきり教職員の意見をもらってやった、当時はおらなかった、課長は。

○委員（麥田 猛美君） アンケートの取り方に問題があったと前に申し上げた。アンケートの中身も全てみんなの意見を反映するような、もう少し形にしないと、疑問を思っている、前のアンケート。

○町長（新川 久三君） 疑問を持っている。

○委員（麥田 猛美君） はい。

○町長（新川 久三君） 2校で、学校統廃合についてとか。

○委員（麥田 猛美君） いや、アンケートです。アンケート。アンケートの様式が、僕は言ってなかったですかね。

○委員（折本 美佐子君） 相当前。

○町長（新川 久三君） その中学校の問題のとき。

○委員（麥田 猛美君） もし、これから、そういうことをするのであれば、もっとアンケートをもう少し検討しよう。

○町長（新川 久三君） 検討、そうね。いや、事務局が作ったのが、そのアンケートになった可能性があるし。

○委員（麥田 猛美君） 再度意見を反映し……。

○町長（新川 久三君） 分かりました。はい。

○委員（麥田 猛美君） 以上です。

○町長（新川 久三君） はい。

○委員（折本 美佐子君） それと、あと、先の話でしようけど、いざ、統合するにあたり、今の学校の先生にもアンケートということでしたが、それに加えて、やっぱり、統合が決まったら、こっちの先生とあっちの、統合する先生たちは、前回も多分築城と一緒に城井中が統合するときも、きっとそういう準備もしていたとは思いますが、次、統合するときには、双方の先生方とコミュニケーションや一緒につくり上げていくような時間が持てたらいいんじゃないかなと、難しいと思うんですけども、そういうふうに思います。というのが、築城中が大荒れに荒れたとき、学校が荒れたときに、うちの子2人、個人的なことであれですけども、行っていたんですね。そのときに、私は保護者として関わっておりましたが、いろいろから聞こえてくるときが、

やっぱり、築城中のやり方、城井中のやり方という感じで、先生たちがなかなか難しかったのもあったのかなというのを聞いておりますので、それはでも仕方がないことだと思います。先生たちがまとめられないと子どもたちも多分まとめられないんじゃないかなと思うので、そういう意味で、準備期間、先生たちが一つになっていけるような準備期間を何か持てたらいいような気がします。

○委員（**麥田 猛美君**） いいですか、しゃべっていいです。

○町長（**新川 久三君**） はい、どうぞ。

○委員（**麥田 猛美君**） そのときの当事者ですから、統合したときの校長が私です。準備の段階で城井におったのも私です。月に1回以上話があったんですかね。だから、一応、結論から言うと、まとめたから学校荒れるじゃねえかという声が出たんです。一緒じゃなかったら荒れなくて済んだんじゃないか。関係ないですけど、そういう見方をされている方が多かったから、なかなか難しかったです。正直に言って。統合したから荒れたんじゃないですよ。統合して、1年目、だって、私おりましたから、築城中学校。3年間おったんですけど、荒れた年の3月まで私はおったんです。だから、考え方が違うとか、いろんな問題じゃなくって、いろいろあるんです。言いつらいこともあるんですけど、そういうシステムがそういうふうに変ったんで、荒れたというのは、ちょっと違うと思います。3月までいたんです。

○町長（**新川 久三君**） まあ、荒れるのはいろいろあって、先生のせいじゃないけどね。

○委員（**麥田 猛美君**） （ ）ですけど。

○町長（**新川 久三君**） やっぱり、家庭が1番……。僕は大事だと思う。家庭がちゃんと教育、家庭教育が必要だろうと思うし、それに……。

○委員（**麥田 猛美君**） ついでに言っていいですか。

○町長（**新川 久三君**） はい。

○委員（**麥田 猛美君**） お前は学校が荒れるのを知っていて出て行ったんか荊田に。そんな言い方でしか、周りがあのときないんで、責められるばかりですから。

○教育長（**久保 ひろみ君**） すみません、本当にいろいろな意見いただいて、本当に学校の中で、統廃合とかいう言葉自体にも反応する方もおられると思うんです。地域の方も。だから、私は、新しい学校をつくっていくんだ。そして、その中に、たまたま、ある学校、その歴史をもって入って、いい、ミックスすることによって、よりいい学校になるというような、そういうコンセプトで進んでいく。そのことが子どもたちも未来に希望が持てるし、親御さんも、この学校で学ばせてみたいな、こんなこともできるんじゃないだろうかなんていう期待感とか、そういうのが持てるような学校づくりになったときは、今、町長が言うておりますけど、ここできちっと形を決めていきながら、計画的に、そして、理解を得るコンセプトのアンケートであるとか、懇談会であるとか、そういうものを丁寧にしながら、進んでいく。そして、みんなでいい学校をつくりま

しょうというところになると、これはまた一つ町が明るく、子どもたちの力になる取組になるかなと思っていますんで、ぜひ、そういうふうに進めていきたいというのが、私としての希望です。

○町長（新川 久三君） 職員も何かない。職員でいいよ、言っていよ。

○総務課長（元島 信一君） 総務課の元島です。今、久保教育長もおっしゃりましたけども、ハード的なものより、やっぱり、児童生徒を持つ保護者の方や今後入学していく方に関しては、築上町が義務教育学校を設立するというような新しい学校のビジョンというんですか、今、町長のほうは、椎田中を建て替えないといけないというハード的なものをおっしゃっていただきましたけども、ソフト的にどういうビジョンを持って、築上町として、今後10年、20年の教育の在り方について、教育委員会も私たち職員も含めて議論をすべきじゃないかなと思って、それを表に出して、皆様方のほうに、町民にアピールして行って、決を取り、意見をまた集約をして、新しい義務教育学校という分野を、柱をつくっていくべきじゃないかなと。その中で、築城地区、椎田地区、同じ敷地の中で9か年学校があり、分かれているけど、同じ5年生と卒業する方とかと一緒にやっているような形もありという形で、それが2つの選択肢の中で、同じあれだけど、どういう環境の違う中で、どちらか選択が、フリースクールということじゃないんですけども、選択ができるよというような形で保護者の方に思っただけのような形になれば、皆さん住民の方も納得ができるんじゃないかなというような……。

○町長（新川 久三君） 当然、建て替えだけじゃなくて、建て替えを契機にビジョンづくり。あとない。

○生涯学習課長（古市照雄君） いいですか。

○町長（新川 久三君） はい、いいよ。

○生涯学習課長（古市照雄君） 生涯学習課です。まず、本当に今議論されている内容では、私たち生涯学習の職、仕事をしています。そして、地域の子どもたちとも一緒に顔を合わせる機会、そして、地域の方と顔を合わせる機会も多い中で、やはり、子どもたちが1番主になって、子どもたちがどうやって育てていくかが、自分たち、私たち、行政の職員の課題でもありますし、そこは今回学校どうするかって、新しい学校どうするかってというところで、子どもたちが成長した先ほどの10年、20年後ってあったんですけど、10年後、20年後に子どもたちが築上町で育ってよかったねって、自分たちが思えるような、誇りに思えるようなところが、やはり、私たちも行政の職員としてつくっていききたいなと思いますし、これから、地域的な地元から学校がなくなるというところの過去にも経験をしてきて、統廃合の中であると思います。ただ、それはその地域の方がやはり辛い思いをするというのものもあるかも分かりませんが、本当の主役というのは子どもたちなので、子どもたちがいかに今後育っていくか。それを大人がどうやっていくか



というところなんで、生涯学習課としてのいろいろとこう子ども会の活動であったりと、かなり少なくなってきたので、それもう広範囲に考えていって、先ほど言った広い考え方の学校の考え方が必要になってくるなと思いますし、私も行政職員としては、それが本当に必要なことだと思いますんで、これからも、この中で議論を進んでいくということは、私たちがサポートはしていきたいなと考えています。

○町長（新川 久三君） はい。ちょっと僕は50分にお客さん（ ）。

そういうことで、一応、白熱した議論になって、次も、この会議やろうね。教育委員会の後やろうか。

○教育長（久保 ひろみ君） ぜひ。

○町長（新川 久三君） そういうことで、教育委員会の後、もし、できるなら、やりたいと思うので、そういうことで、ちょっと、これから、やりながら、ある程度煮詰めていくということで、あとの職員の皆さんも考えとってください。

小林先生と宮内先生考えとってくださいね。

○指導主事（宮内 裕美君） 分かりました。

○町長（新川 久三君） 今日は、ちょっとお客さん来る、すみません、僕は退席します。

○教育長（久保 ひろみ君） はい。

○町長（新川 久三君） すみません。

○教育長（久保 ひろみ君） 皆さん、町長ちょっと所要があるということで、出られました。本当にいろいろ意見を出していただきまして、これからの進め方としては、この会議で決めていくということもありますし、一応、町の課長さん方にも、また意見を聞く機会とか、やはり、そういういろんな分でいく必要があるのかな。そして、ある程度の方向性が決まったら、きちんとして、3月、3月はどうなのかな、難しいんやないかなとちょっとと思いますが、調整しながら早急に考え方をまとめていく、そして、ちょっと、また、こちらの、事務方のほうではどういう進め方が1番いいのかって、やっぱり、年度、スケジュール的なものも要ると思うんです。いつまでに、こういう考え方を決める。次に、アンケートを先生方にする、議員の方にする。行橋のほうは、抽出で一般市民の方々に対して、学校の在り方というようなものを調査したというのも聞いておりますので、それは一般の人たちの声というところで反映されるかなと思いますので、ちょっとそういう面も私たちが調査して、やり方についてはいきたいと思いますので、今後とも、ちょっと方向、広がっていくというよりも、少し、今後どうしていくかというのをまとめる形で進めていけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

課長に返します。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。

それでは、活発な議論ありがとうございました。

次回は、先ほど教育長も言われましたが、3月はなかなかちょっと厳しいので、次回は新年度になろうと思いますので、また、それは調整の上、通知で連絡したいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第3回築上町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

午前11時55分閉会

---